



浜銀総研 News Release



横浜銀行グループ

2021年12月28日

NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送による 神奈川県内への経済波及効果の試算を行いました

浜銀総合研究所（代表取締役社長：肥塚 俊成）ではこのほど、鎌倉市観光協会および横浜銀行と協力して、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送による神奈川県内への経済波及効果を試算しましたので、ご案内いたします。

2022年1月9日（日）から始まる予定の「鎌倉殿の13人」は、鎌倉時代序盤の鎌倉を主な舞台とするドラマです。鎌倉市には現在も「鎌倉殿の13人」ゆかりの地が数多く存在しており、鎌倉市をはじめとする神奈川県内に多くの観光客が訪れることが期待されます。

そこで、一定の前提条件を課して「鎌倉殿の13人」の放送による神奈川県内への経済波及効果を試算したところ、生産誘発額は総額307億円になるとの結果を得ました（詳細については、下記の鎌倉市観光協会の資料をご覧ください）。

なお、試算を行うに当たり、先行して経済波及効果を発表した日本銀行横浜支店からの助言等も踏まえたうえで、①観光入込客の増加数の想定や、直接効果を推定する際の県内自給率の設定などの前提条件について独自の検討を行いました。また、②大河ドラマ「鎌倉殿の13人」鎌倉市推進協議会が行うプロモーション・誘客事業の効果についても試算し、上記の試算値を得ました。

新型コロナの感染拡大で、観光産業は大幅な停滞を余儀なくされました。浜銀総合研究所では、今回の大河ドラマが神奈川県観光業にとってコロナ禍からの回復の起爆剤となることを祈念するとともに、横浜銀行グループの一員として、今後も地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

⇒試算の詳細は下記の鎌倉市観光協会Webサイト内の公表資料をご覧ください

<https://www.trip-kamakura.com/>

【本件についてのお問い合わせ先】
（株）浜銀総合研究所 調査部 湯口
TEL. 045-225-2375